

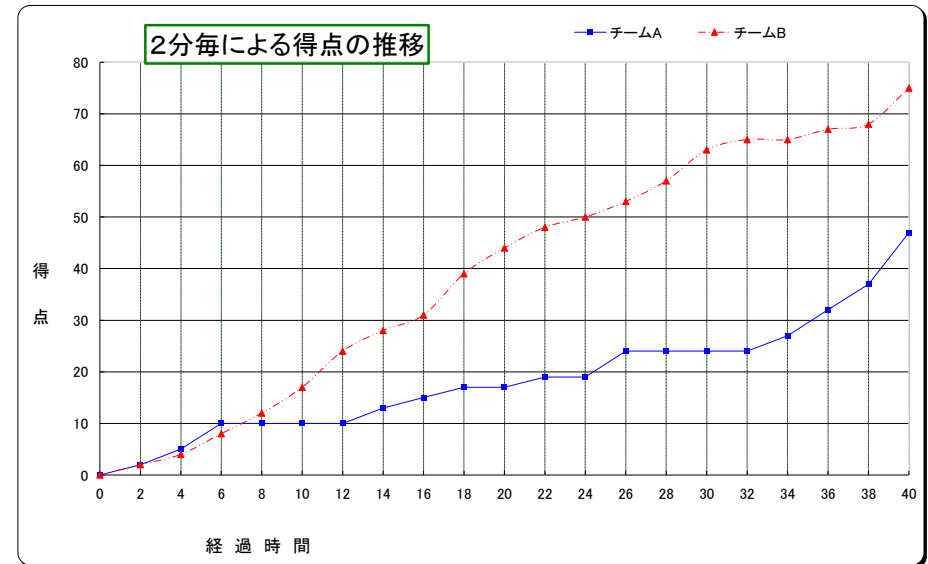
平成28年度第70回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会

平成28年6月4日(土)
本庄シルクドーム
Bブロック2回戦

チームA 柏市立柏	47	{	<table border="0"> <tr><td>10</td><td>1st</td><td>17</td></tr> <tr><td>7</td><td>2nd</td><td>27</td></tr> <tr><td>7</td><td>3rd</td><td>19</td></tr> <tr><td>23</td><td>4th</td><td>12</td></tr> </table>	10	1st	17	7	2nd	27	7	3rd	19	23	4th	12	}	75	チームB 県立厚木東
10	1st	17																
7	2nd	27																
7	3rd	19																
23	4th	12																

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	南 達也	3	1	6	0	2	0	0	0	0	2	0	2	0	2
5	竹川 真聖	2	0	3	1	2	0	0	2	0	3	1	0	0	0
6	築 拓海	4	0	0	2	4	0	0	1	0	3	1	2	0	2
7	鈴木 涼裕	4	0	0	2	5	0	0	1	1	1	0	0	0	0
8	佐藤 凱	2	0	1	1	1	0	0	2	1	0	0	1	0	1
9	伊藤 祐太	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
10	田口虎宇我	5	1	1	1	1	0	2	2	0	0	0	0	0	4
11	綱木 天志	4	1	1	0	4	1	2	1	1	0	0	2	0	0
12	菊地 慧	4	0	2	2	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0
13	川村 陵	0	0	2	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	2
14	松本宗一郎	0	0	4	0	1	0	0	1	1	0	1	0	0	4
15	中西 亮太	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0
16	鈴木 峻真	1	0	0	0	3	1	2	2	0	1	0	0	0	3
17	大原 佑太	16	4	9	1	3	2	4	2	0	3	0	0	0	1
18	阿部 匠馬	2	0	0	1	2	0	0	2	0	1	0	0	0	0
コーチ	岡崎 武史														0
		47	7	29	11	32	4	10	16	6	16	4	7	1	19
		確率	24.1%		34.4%		40.0%			計	22				

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	奥山喜理人	6	2	7	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	1
5	石原遼太郎	2	0	0	0	1	2	2	0	0	0	0	0	0	1
6	末澤 椋太	3	1	5	0	1	0	0	0	0	3	1	0	0	0
7	久保 村光	4	0	0	2	4	0	1	0	0	1	0	0	0	3
8	杉森 大河	12	0	1	5	5	2	3	1	3	2	0	1	0	0
9	山田 大成	6	2	12	0	1	0	0	3	2	0	4	1	0	1
10	五十嵐 豪	2	0	0	1	3	0	0	1	0	2	0	0	0	0
11	望月 健太	0	0	0	0	1	0	0	1	2	0	0	0	0	1
12	東野 恒紀	10	0	4	5	7	0	2	2	1	3	3	1	0	3
13	佐野龍之介	11	0	3	4	9	3	4	0	3	2	1	1	0	2
14	菊池 允	6	0	0	3	4	0	0	1	0	2	0	0	0	0
15	矢川 拳梧	0	0	4	0	1	0	0	2	1	3	0	0	0	4
16	小宮 優大	8	0	1	4	6	0	0	0	2	7	2	0	0	1
17	天宮 直之	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	2
18	吉田 烈	5	0	0	2	3	1	2	2	2	0	0	0	1	1
コーチ	永田 雅嗣郎														
		75	5	37	26	47	8	14	16	16	27	11	4	1	20
		確率	13.5%		55.3%		57.1%			計	43				



戦評

第1P お互いハーフコートマンツーマンディフェンスで始まる。両チーム共にディフェンスの捕まえが激しく、それに応じた攻めも力強く、リバウンド争いもお互いに譲らず、力が拮抗した好ゲームの展開となった。激しくぶつかり合う展開でもあり、1日で2ゲーム目ということもあり、お互いにメンバーチェンジを頻繁に行いながらのゲームとなった。序盤は1対1を仕掛けるもシュートが入らず、重い展開となったが、市立柏が#4 #13の3pや#6の外からのシュートで得点すると、対する厚木東はオフェンスリバウンドを頑張り、#8 #18 #12がリバウンドからゴール下で得点する。厚木東が果敢にドライブインすることから市立柏のチームファウルが多くなり、フリースローによる得点から徐々に点差が離れていき、17対10厚木東リードで終了。

第2P 厚木東は#6の3pや#8のゴール下、#16のドライブインで点差を広げる。市立柏はゴール付近でシュートすることができず、外からのシュートが多くなる。市立柏#17の3pが決まるも、厚木東は5人交代によるツープラトンで運動量を落とさず、オールコートで激しくプレッシャーをかけ、市立柏のボール運びのミスを誘う。市立柏はタイムアウトを取り、立て直そうとするが、その後も厚木東のボールマンに対する激しいプレッシャーに対して対応できずにボールを奪われてしまい、点差が開いていく。市立柏もディフェンスをゾーンに変え、#7の速攻や#4のジャンプシュートで追い上げようとするが、厚木東#9の3p、#18の速攻と#4の連続3pなどで点差は広がり、44対17で前半終了。

第3P 厚木東は前半と変わらずツープラトンで運動量をキープするが、外からのシュートの確率は下がります。それでもオールコートで激しくプレッシャーをかけ続けるので、ボールを奪ってからの速攻で得点していく。両チーム共にメンバーチェンジを多く行うが、ミスが多くなり、トランジションの早いゲーム展開となる。厚木東は#14 #12の速攻、#16のドライブインなどで点差を広げ、63対24で終了。

第4P 両チーム共にベンチメンバーとなり、お互いにシュートが入らないまま時間が過ぎていく展開となる。市立柏は#11 #10の連続3p、#12のドライブインで追い上げを図る。最後は厚木東のお株を奪うオールコートでのプレッシャーディフェンスでボールを奪い、#17の連続3p、#12の速攻、#10のドライブで点差を詰めるが追いつくまでにはいかず、47対75で厚木東が勝利した。終始メンバーを入れ替えながら運動量を落とさず、激しいプレッシャーをかけた厚木東が準決勝に駒を進めた。

記録者: 伊澤 暁

主審 **武井 晋平** 副審 **土屋 友由**